

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会  
平成29年度 (第9回) 会計実務検定試験 管理会計  
審査基準

【1】

1	2	3	4	5	6
サ	ウ	ク	ケ	カ	ア

【2】  
問1

(単位：千円)

	甲社	乙社	丙社
事前コスト	( 18,200 )	( 16,300 )	( 15,800 )
事後コスト	( 10,534 )	( 13,740 )	( 16,259 )
ライフサイクル・コスト	( 28,734 )	( 30,040 )	( 32,059 )

よって、甲社の機械が最適である。

問2  
(1) 高低点法による場合

変動費率	固定費
105 円/時間	103,000 円

(2) 最小自乗法による場合 (端数が出たときには、小数点第1位までを答えなさい。)

変動費率	固定費
97.5 円/時間	105,812.5 円

(3)

(a)	(b)
イ	ア

【3】

現金収支予算表 (単位：円)

項目	金額
期首有高	( 1,080,000 )
現金収入	
製品売上	( 3,700,000 )
受取手形の回収	( 7,540,000 )
売掛金の回収	( 26,560,000 )
現金収入合計	( 38,880,000 )
現金支出	
材料仕入	( 1,275,000 )
支払手形の決済	( 5,658,000 )
買掛金の支払	( 7,218,000 )
借入金の返済	( 2,000,000 )
直接労務費	( 8,625,000 )
製造間接費	( 5,597,000 )
販売費	( 4,300,000 )
一般管理費	( 1,150,000 )
利息の支払	( 85,000 )
工具・器具・備品の購入	( 774,000 )
現金支出合計	( 36,682,000 )
予算期末有高	( 2,198,000 )

見積貸借対照表 (単位：円)

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金預金	( 2,198,000 )	支払手形	( 720,000 )
受取手形	( 920,000 )	買掛金	( 1,104,000 )
売掛金	( 940,000 )	長期借入金	( 2,250,000 )
有価証券	( 1,035,000 )	資本金	19,000,000
製品	915,000	利益剰余金	( 5,388,000 )
材料	400,000		
その他流動資産	59,000		
建物	( 17,500,000 )		
機械設備	( 3,500,000 )		
工具・器具・備品	( 1,560,000 )		
減価償却累計額	( △ 6,265,000 )		
土地	5,700,000		
	( 28,462,000 )		( 28,462,000 )

【4】

問1

	製品種別別損益計算書(全部原価計算)			(単位:千円)
	A製品	B製品	C製品	合計
I. 売上高	54,000	67,200	45,500	166,700
II. 売上原価	( 46,080 )	( 54,600 )	( 42,280 )	( 142,960 )
売上総利益	( 7,920 )	( 12,600 )	( 3,220 )	( 23,740 )
III. 販売費及び一般管理費	( 5,200 )	( 7,900 )	( 4,550 )	( 17,650 )
営業利益	( 2,720 )	( 4,700 )	( △ 1,330 )	( 6,090 )

問2

	製品種別別損益計算書(直接原価計算)			(単位:千円)
	A製品	B製品	C製品	合計
I. 売上高	54,000	67,200	45,500	166,700
II. 変動売上原価	( 32,040 )	( 33,600 )	( 31,080 )	( 96,720 )
変動製造マージン	( 21,960 )	( 33,600 )	( 14,420 )	( 69,980 )
III. 変動販売費	( 2,250 )	( 2,800 )	( 2,100 )	( 7,150 )
貢献利益	( 19,710 )	( 30,800 )	( 12,320 )	( 62,830 )
IV. 個別固定費				
1. 固定加工費	( 8,640 )	( 12,600 )	( 7,000 )	( 28,240 )
2. 固定販売費及び一般管理費	( 1,600 )	( 3,000 )	( 1,400 )	( 6,000 )
セグメント・マージン	( 9,470 )	( 15,200 )	( 3,920 )	( 28,590 )
V. 共通固定費				
1. 固定加工費				( 18,000 )
2. 固定販売費及び一般管理費				( 4,500 )
営業利益				( 6,090 )

※点線で結んであるものは、両方で1箇所の採点箇所とする。

問3

ア	イ
C 製品	3,920 千円

【5】

問1 自製した方が購入した場合と比べて  円 だけ (  ・ 不利 ) である。

問2 (1) 製品Xの最大生産量  個

(2) 製品X 1個あたりの貢献利益  円

製品Y 1個あたりの貢献利益  円

(3) 製品Y 2,000個の特別注文を引き受けたときの営業利益  円

(4) 特別注文2,000個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、

円 だけ (  ・ 不利 ) である。

(5) 特別注文500個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、

円 だけ ( 有利 ・  ) である。